がんばろう！東北

平成２５年９月２０日
国土交通省　東北地方整備局
北上川下流河川事務所

記者発表資料

重要文化財「石井閘門（いしいこうもん）」の具体的補修方法を協議・決定

東日本大震災で被災した重要文化財「石井閘門」の補修方法について、学識者と共に協議して参りました。

今回、「重要文化財『石井閘門』保全対策検討委員会」を開催し、これまでの協議内容を踏まえて、具体的な補修方法と補修材料等について協議し、決定します。

※ 今回は、検討委員会の前に「現地検討会」を行います。

【現地検討会】

１．日　時　　平成２５年９月２５日（水）１３：１５～１３：４５
２．場　所　　重要文化「石井閘門」【住所】石巻市水押三丁目6

【検討委員会】

１．日　時　　平成２５年９月２５日（水）１４：００～１５：３０
２．場　所　　石巻グランドホテル（２Ｆ鳳凰の間）【住所】石巻市千石町2-10
３．議事等　　別紙参照。※ 検討委員会は、原則「公開」です（一般傍聴席は先着１５名分）。

◆検討委員会の経緯

施設の老朽化と東日本大震災による被災を受けた重要文化財「石井閘門」の補修方法等を検討するため、平成２４年８月に学識者による委員会を設立し、今回で４回目の開催となります。これまでは、「石井閘門」の状態を把握するための水中調査や測量調査、素掘調査等の結果を踏まえて、今後の補修方針等を協議して参りました。

◇「石井閘門」とは・・・。

「石井閘門」は、その歴史的価値により、平成１４年(２００２年)５月に国の重要文化財に指定されています。明治１３年(１８８０年)の完成から１３３年の時を経た重要文化財「石井閘門」は、東北地方開発の拠点として建設が進められた「野蒜築港（のびるちくこう）事業」の一環として、西洋から取り入れられた近代土木技術によって整備され、現在稼働する閘門(※)としては国内最古のものです。

※閘門（こうもん）・・・水位の異なる運河と川などの間で水位を調節し、船の航行を可能にする施設。

発表記者会：石巻記者クラブ、古川記者クラブ

問い合わせ先
◆国土交通省　東北地方整備局　北上川下流河川事務所
（住　所）石巻市蛇田字新下沼８０
（ＴＥＬ）０２２５－９５－０１９４（代表）
副所長（技術）　佐藤（さとう）　正明（まさあき）（内線２０５）
管理課長　　斎藤（さいとう）　巧（たくみ）（内線３３１）

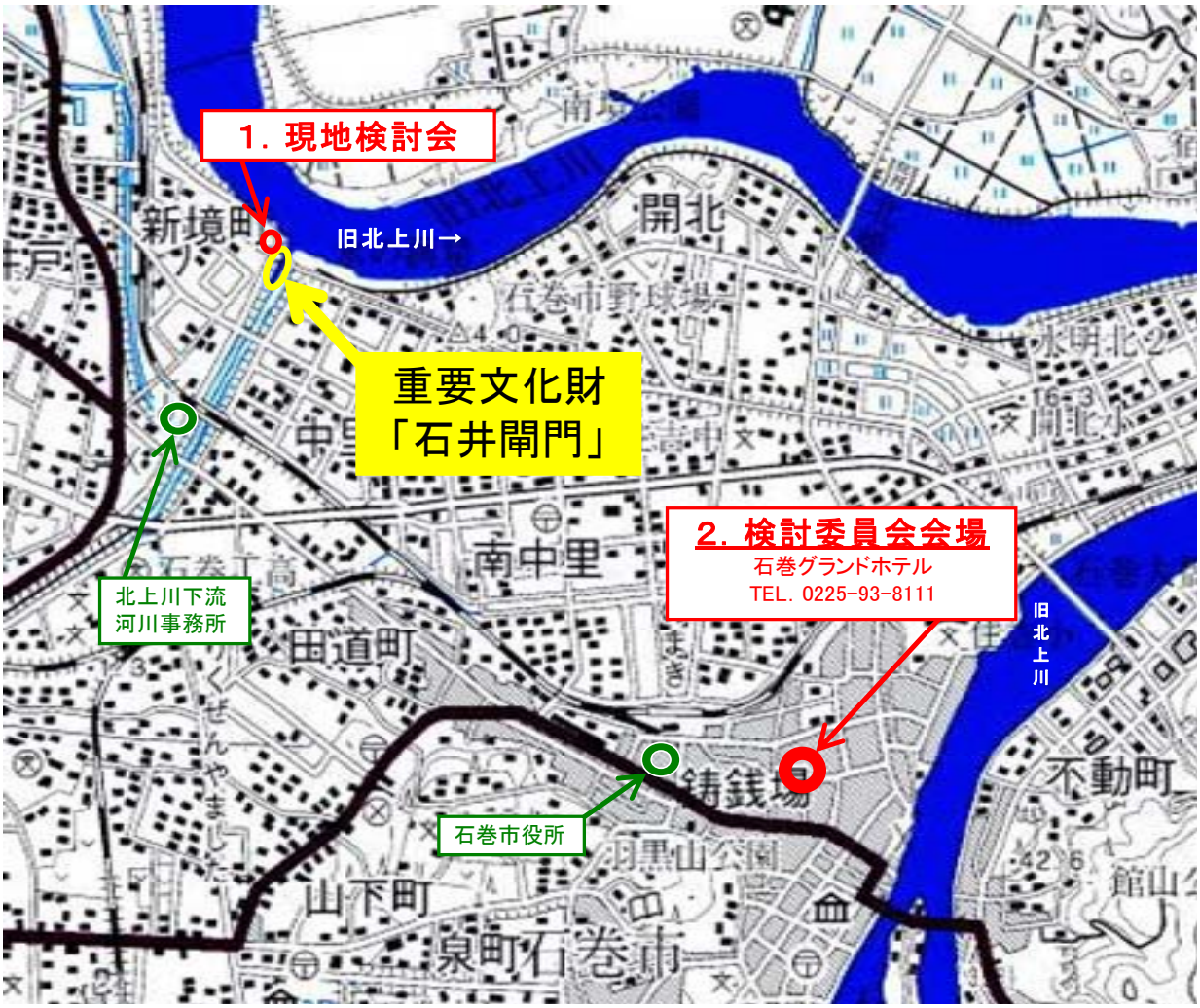
第4回　重要文化財『石井閘門』保全対策検討委員会 及び 現地検討会

【 位　置　図 】

◆開催日時

1．現地検討会　：　平成25年9月25日(水)　13:15～13:45

2．検討委員会　：　　同上　　14:00～15:30　（石巻グランドホテル）



震災前の石井閘門　H17年4月頃

震災直後の石井閘門　H23年3月14日

第４回

重要文化財「石井閘門」保全対策検討委員会

日　　時：平成25年9月25日(水)
14:00～15:30
開催場所：石巻グランドホテル　２Ｆ
鳳凰の間 西

議　事　次　第（案）

開　　会

１.委員紹介

２.あいさつ

３.議　事

（１）前回指摘事項に対する対応状況について

（２）補修方法及び工程について

（３）重要文化財保存活用計画の策定について

（４）今後の予定ほか

閉　　会

第 4 回
重要文化財「石井閘門」保全対策検討委員会
出席者名簿

〔委員〕

	阿部（あべ） 貴弘（たかひろ）	日本大学理工学部まちづくり工学科　准教授　（欠席）
	風間（かざま） 聡（そう）	東北大学大学院工学研究科　教授　（欠席）
	河井（かわい） 正（ただし）	東北大学大学院工学研究科　准教授
◎	木村（きむら） 勉（つとむ）	長岡造形大学建築・環境デザイン学科　教授
	後藤（ごとう） 光亀（こうき）	東北大学大学院工学研究科　准教授
	知野（ちの） 泰明（やすあき）	日本大学工学部土木工学科　准教授　（欠席）
	永井（ながい） 康雄（やすお）	山形大学地域教育文化学部　教授
	長谷川（はせがわ） 直司（なおじ）	独立行政法人建築研究所　建築生産研究グループ長
	邊見（へんみ） 清二（せいじ）	石巻千石船の会　会長

※ ◎は委員長　　（敬称略　五十音順）

〔オブザーバー〕

関口（せきぐち） 重樹（しげき）	文化庁文化財部参事官（建造物担当）付修理指導部門 文化財調査官
白崎（しらさき） 恵介（けいすけ）	宮城県教育庁文化財保護課保存活用班　主任主査
芳賀（はが） 英実（ひでみ）	石巻市教育委員会生涯学習課　主幹
加藤（かとう） 実（みのる）	宮城県東部土木事務所　副所長
佐藤（さとう） 克英（かつひで）	国土交通省東北地方整備局北上川下流河川事務所　所長